



まつど生涯学習大学講座 開講式

市民劇場ホール 平成27年5月21日

《趣旨》

わが国では、今日、他国では見られない早さで超高齢社会が進行しています。それは、私たちがこれまで経験や予測もしなかった、人権、福祉、医療などさまざまな問題を提起しています。

このような時代にあっては、それぞれが自らの生活課題に即した学習が不可欠と言えます。

とりわけ熟年の方々には、自らが住む地域社会をよりよいものにしていく、主体的役割が求められています。そうした役割を果たすためにも、不断の学習が肝要と思われれます。

まつど生涯学習大学（全18回）では、これらについての学習を深めながら、皆さんが地域社会の中で行動する主体になることを目的として開設しています。

開講式では、織原副市長の挨拶、開催趣旨説明のあと、元NHKアナウンサー村松 真貴子氏による『感じの良い「話し方」の極意』と題した基調講演が行われました。



○コミュニケーションの働き

- ①良い人間関係を作る
- ②情報を伝える
- ③相手の心を動かす

・言葉との出会い

- ：何気ないひと言が未来を決めることもある
- ：言葉はナイフにもなるけれど 人の心を救う力もある

- ・笑顔は 心と心の壁を取り払ってくれる・笑顔で挨拶してみよう
- ・良いことがあったから笑顔になるのではなく、笑顔でいるから良いことがある

○人前で話すとき心がけること

- ・マイクの前に立ったら慌てて話し出さない
- ・第一声を ゆっくりはっきり大きな声で
- ・全員を見て話すように・見ているところに声は届く（M字型・S字型目線）
- ・句点「。」を意識して話そう（修飾語が多いとわかりづらくなる）
- ・上手に話さなくていい、自分らしく話せばいい（季節の挨拶など）

○言葉は自分の未来をつくる道具・言葉が人間関係をつくる

言葉は自分の未来を切り開く